


新宿に残る文人・画人の記念館を巡る

[「記念館散策」](#)  [ここをクリックして地図で場所を確認しましょう。](#)

- 平成30年9月に実施しましたこのまち歩きも、たくさんの応募をいただきました。新宿区内に在る、日本近代、現代に名を遺す画家、作家の記念館を訪ねましょう。

JR目白駅からスタート。改札を出て目の前の目白通りを左に向かい、駅から三つ目の信号を左に入りしばらく歩くと、道路の真ん中に「近衛邸のケヤキ」があります。これは貴族院議長も務めた、近衛篤磨公の屋敷の車廻しにあったケヤキとして保存されています。その先には「旧帝国ホテル」を設計したF・ロイド・ライト様式の「目白ヶ丘教会」も見ることができます。




【 近衛邸のケヤキ 】



【 目白ヶ丘教会 】

そして、ケヤキ手前の交番のある四ツ辻を西に、静かな住宅街の中を歩いていくと、37歳で夭折した天涯孤独の画家、中村彝(ツネ)の「**中村彝(ツネ)アトリエ記念館**」(新宿区下落合3-5-7 TEL:03-5906-5671)に着きます。2013年にアトリエ兼住居を復元して建てた記念館は、板張りの床、大きな北窓、彝が使用したイーゼルなど、当時の様子がうかがえます。

記念館見学後、さらに西に歩くと「**アダチ版画研究所**」(新宿区下落合3-13-17 TEL:03-3951-2681)が在ります。ここは、日本伝統の「木版技術」の工房とショールームが併設されており、復刻した約1,200点の浮世絵を観賞、購入できます。地図を参考にさらに西へ歩き、聖母病院と上智大学が向かい合う聖母坂通りに出て、案内標識を頼りに細い道を入ると、2010年から公開されている、「**佐伯祐三アトリエ記念館**」(新宿区中落合2-4-21 TEL:03-5988-0091)に着きます。ここがわずか4年余りの創作活動の拠点となった場所であり、30歳でフランスにて客死した日本近代絵画の天才画家、佐伯祐三の薄幸の人生を、展示パネル等で知ることができます。いずれの記念館もボランティアガイドが、丁寧に館内を案内してくれます。

[「中村彝\(ツネ\)アトリエ記念館」](#)  それぞれのホームページはこちらをクリック
[「佐伯祐三アトリエ記念館」](#) してください。



【 中村彝(ツネ)アトリエ記念館 】



【 佐伯祐三アトリエ記念館 】

○ 次に目指す「林芙美子記念館」(新宿区中井 2-20-1 TEL:03-5996-9207)へは少し長い歩きとなります。地図を参考に聖母坂通りを西武新宿線・下落合駅に向かって下り、新目白通り角の交番を右に曲がります。

少し先の二股の道を左に入ると、西武新宿線中井駅までの中井通りとなります。道なりにブラブラ歩き、山手通りを越えて、四の坂を右に少し登れば到着です。

「放浪記」、「浮雲」などで知られる林芙美子がその生涯を閉じたこの家は、建てるにあたって建築について勉強をし、材木、民家を見学するなど、芙美子の格別の思い出がある家であり、そのこだわりを随所にみることができます。

なお、二つのアトリエ記念館は無料ですが、ここは有料となります。



【 林芙美子記念館 】



[「林芙美子記念館」](#) 🏠 ホームページはこちらをクリックしてください。

(各記念館リンク先: 公益財団法人新宿未来創造財団)

最後はオススメランチ処の紹介 [行きたいお店をクリックしてください。](#)

- 1 [目白 匂香亭](#) 絶品洋食レストラン
- 2 [吉祥庵 目白店](#) そば打ちの神様 高橋名人が指導した店
- 3 [讃岐うどん 蔵之介](#) 厳選素材、純手打ちの本場讃岐うどん